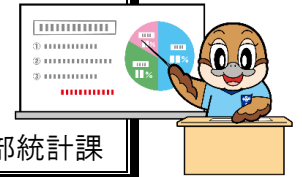


コロナ禍で変わった食生活 -その1-

大阪府総務部統計課



©2014 大阪府もずやん

事業者の判断で着用を求められる場合や従業員が着用している場合があるものの、今月13日から、マスク着用は個人の判断が基本となりました。この間「マスク会食」や「黙食」が推奨され、味はするけど味気ない食事が続いただけに、喜びもまた一人ひとしおというものです＼(^o^)/（なんと大げさな・・・）。

今回と次回は、[家計調査\(二人以上の世帯\) 品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング](#)から、コロナ前(平成29～令和元年平均)とコロナ禍(令和2～4年平均)を比較して、私たちの食生活の変化を見ていきます。

※ 家計調査は、総務省が毎月実施する、統計法に基づく基幹統計調査で、調査対象となった世帯(全国で約9,000、大阪府で約400)に半年ないし3か月間、『家計簿』をつけていただきます。
実際の調査は、都道府県が統計調査員を使って行います。

1. 一般外食

家計調査では、外食を

- ・原則として飲食店における飲食費
- ・飲食店により提供された飲食物は、出前、お持ち帰りにかかわらず、全て外食
- ・学校給食も含む



と定義し、調査を行っています。

通常「外食」と言う場合のイメージから外れていますし、無償化している自治体もありますので、学校給食を含まない「一般外食」の年平均ランキングで52都市を比較します。

※ 小・中学校の給食を実施する全国約1600市区町村の3割が、2022年度に給食費を無償化したことが日本農業新聞の調査で分かった。(ヤフー！ジャパンニュース 2023/2/22 配信)

コロナ前(平成29年～令和元年平均)			コロナ禍(令和2年～令和4年平均)		
順位	都市	金額	順位	都市	金額
	全国	162,297		全国	124,761
1	東京都区部	246,069	1	東京都区部	184,327
2	川崎市	222,889	2	名古屋市	167,474
3	横浜市	204,375	3	岐阜市	167,455
4	名古屋市	202,217	4	さいたま市	158,238
5	金沢市	196,136	5	川崎市	154,244
	:			:	
12	大阪市	169,305	18	大阪市	127,859
	:			:	
19	福井市	162,722	22	堺市	125,145
	:			:	
24	堺市	157,639	40	福井市	108,416
	:			:	
33	長崎市	149,547	49	長崎市	94,209

単位：円/年

52 都市全てで減少し、全国では 12 万 4,761 円で 3 万 7,536 円・23.1%減少しました。上位 4 市では 20 万円を超えていたのが、コロナ禍で 1 位でも 18 万 5 千円、4 位では 16 万 8 千円です。

減少額が最も大きいのは川崎市(68,645 円)、次いで東京都区部(61,742 円)です。

減少率が最も大きいのは長崎市(37.0%)、次いで福井市(33.4%)です。

なお、大阪市は△41,446 円・24.5%、堺市は△32,494 円・20.6%と、額も率もそれほど目立ちません。

不要不急の外出自粛やテレワークに被せて「マスク会食」だと来た日にやあ、外食する気も失せちまわあ ですね・・・(なぜか江戸っ子)



ところで、「一般外食」の内訳は、次のとおりです。

項目	コロナ前 (平成29年～令和元年平均)	コロナ禍 (令和2年～令和4年平均)	増減
一般外食	162,297	124,761	-37,536
日本そば・うどん	6,245	5,260	-985
中華そば	6,581	5,891	-690
他の麺類外食 (例)スパゲッティ、マカロニグラタン	2,357	1,964	-393
すし(外食)	14,885	13,397	-1,488
和食 (例)懐石料理、なべ料理、親子丼、カレーライス	23,048	19,108	-3,940
中華食 (例)八宝菜、炒飯、ぎょうざ	4,838	3,953	-885
洋食 (例)西洋風の料理(フランス・イタリア・スペイン・ロシア料理など)、エスニック料理	12,927	9,064	-3,863
焼肉	7,082	6,135	-947
ハンバーガー	4,141	5,434	1,293
他の主食的外食 (例)ドーナツセット、お好み焼き、ピザバイ(宅配を含む。)、お子様ランチ、会社での食事代	54,404	40,377	-14,027
喫茶代	7,005	6,421	-584
飲酒代	18,785	7,757	-11,028

単位：円/年

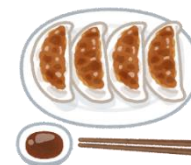
ハンバーガーのみ増えています。で、次はハンバーガーで 52 都市を比較します。

【ハンバーガーに行く前に・・・】

毎年、家計調査の年結果が公表されると、『餃子の街』を巡って宇都宮市、浜松市、宮崎市が壮絶な？バトルを繰り広げていますが、あれはスーパーなどで購入した生/焼きギョウザの額を比べてのことです。

冷凍ものは「冷凍食品」に埋もれ、外食についても、表のとおり「中華食」で一括りになっているため、分かりません。

よって、統一日本王者は決まらず、どの市もドメの一撃は喰らわない、ということになります。



2.ハンバーガー(セットも含みます)

コロナ前(平成29年~令和元年平均)

順位	都市	金額
	全国	4,141
1	川崎市	5,638
2	高松市	5,513
3	那覇市	5,474
4	名古屋市	5,438
5	岐阜市	5,385
:	:	:
16	大阪市	4,798
:	:	:
38	堺市	3,776

単位:円/年

コロナ禍(令和2年~令和4年平均)

順位	都市	金額
	全国	5,434
1	熊本市	7,552
2	さいたま市	7,447
3	徳島市	7,211
4	広島市	7,084
5	高知市	6,881
:	:	:
14	堺市	6,292
:	:	:
28	大阪市	5,598

単位:円/年

1位の熊本市は、14位/4,857円から2,695円も増加しました。

我が堺市は14位/6,292円と大躍進!増加額は2,516円で、熊本市、さいたま市に次ぎました。

事程左様に増加した背景としては、その商品・販売の形態からコロナ前からテイクアウトが定着していたところに『巣ごもり』『非接触』でデリバリーやドラ

イブスルーを選択、といった追い風があったのが大きいと思われます。

なお、上位の顔触れが一変の理由は、さっぱり分かりません。総選挙でもあったのでしょうか、48よりちと多いですが(笑)

今回は、18,785円が7,757円に、減少率58.7%と突出している飲酒代について深掘りする予定です。「オンライン○○」が2020年の新語・流行語の一つであったのは皆さんも知るところ、どんな記事になるかは透けてしまってますよね・・・でも、お楽しみに☆

【編集長のつぶやき・・・】

- 家計調査の外食の内訳、単独品目で店舗が相当数存在するものを独立させてるようやけど、
- ・「ドーナツ」「お好み焼き」「ピザパイ」「カレーライス」も、「すし」「焼肉」「ハンバーガー」には及ばんが、専門店化していると思う
- ・独自進化を遂げて今や国民食、出汁の効いた和風なものもあるけど、「カレーライス」が「和食」とはいやはや
- ・「中華そば」は「日本そば・うどん」と並べておいて、「ぎょうざ」は「中華食」に埋もれさせるんかい

トーカー

【Let's統活!】統計課からのお知らせ

統計データ利活用に役立つ情報や実施予定の統計調査のご案内です。



子ども向け統計教育コンテンツ「学びの広場」を新設しました!



お子様にも統計データに親しみを持っていただけるよう、「学びの広場」を統計課ホームページに新設しました☆

大阪に関する統計クイズや大人も楽しめるコンテンツを掲載していますので、皆さんもぜひチャレンジしてください!

(画像をクリックすると該当ページに飛びます)

☒ お問合せはこちら

[大阪府統計課へのお問合せ\(大阪府行政オンラインシステム\)](#)
大阪府総務部統計課情報企画グループ ☎06-6210-9196